



信濃おおまち
みずのわ
プロジェクト
MIZUNOWA PROJECT
OMACHI, NAGANO, JAPAN



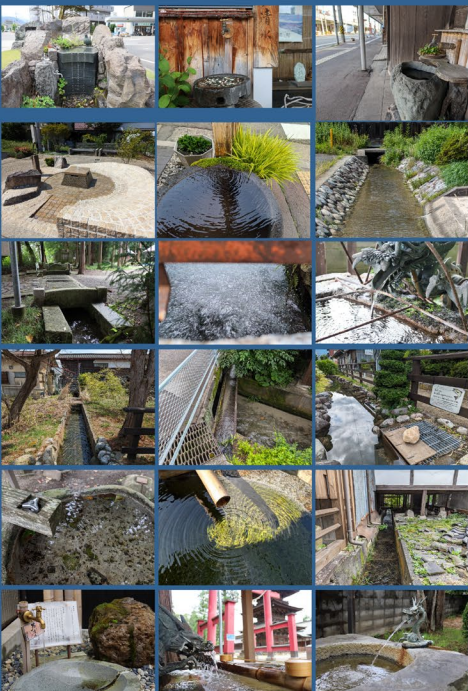
いであ株式会社 垂 秀明、安間 智之

SDGs 未来都市選定を機に「水が生まれる信濃おおまち」とSDGsの取り組みを積極的に推進している企業を中心となり、北アルプス山麓を起点に、豊かな「水」と育んできた暮らし・風土・文化を学び、自然と人とのやさしいコミュニティを育むことで、市民の皆さんと共に100年先を見据えた「まち・ひと・しごとづくり」を実現しサステナブルなモデルタウンを目指します。

<マネジメントパートナー>

大町市、サントリー、八十二銀行、
大町商工会議所、JTB、市教育委員会

大町市の豊かな水スポット



写真提供：信濃おおまち みずのわプロジェクト

地図アプリと連動するスタンプラリー企画 北アルプス国際芸術祭 2024 期間限定 (2024.9.13 ~ 2024.11.4)



スタンプラリー画面
スタンプラリーアプリケーション：palanAR ラー

発注者・資料協力：信濃おおまち みずのわプロジェクト（長野県大町市）



みずの音ナビ（2D）

みずの音ナビの「みずの音（ね）」
大町市内には古くから多くの堰（水路）があります。
北アルプスからの恵みの水は、人々の生活に密着し、
いたるところで心地よい「みずの音」を響かせます。

<凡例>（水スポット等は拡大すると表示）



WebAR アプリケーション：palanAR

受託・開発者：いであ株式会社



みずの音ナビ（3D） （大町市・水スポットの位置）



開発方針・内容

方針

当社の業務を通して培ってきた
・良好な水循環・水環境の創出活動の取組推進の知見
・多くの環境マップを作成してきた経験を活かして、
「大町市の水の魅力を内外に伝えたい」
という大町市担当者の強い思いを具現化する

開発期間・内容

- 開発期間 2 か月
- ①「みずの音マップ」（紙）の作成補助（水路、道路）
 - ②「みずの音ナビ」2Dの開発
 - ③「みずの音ナビ」3Dの開発
 - ④WebARを使った水スポット紹介アプリの作成
 - ⑤Web上でのスタンプラリーアプリの作成
- ②③：自社開発（ArcGIS Experience Builder）
④⑤デザイン・テスト：自社（palanAR ほか）

開発期間 2 か月を可能にした要因

- ・ ArcGIS Online（いつでもみんなが使える GIS）
- ・ ArcGIS Experience Builder（ノーコードで開発）
- ・ ESRI ジャパン担当営業、サポートの明確な回答

紙地図→ デジタル化→3次元表示のねらい

- ・ Web アプリで誰でも簡単に利用
- ・ 紙地図「みずの音マップ」の良さを活かす
- ・ 地形データを使った紙地図の立体化
- ・ GPS 連動で紙地図の上を歩くように利用



いであ株式会社 2025年5月